

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート企画コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	村上 勝志		実務経験の有無・職種	有：プロデューサー、A&R、マネージャー	
学習目的					
イベント現場における企画スタッフとしてのスキルを身につける実習。基礎実習ローテーション期間ではすべてのコース(制作・企画・舞台・照明・PA)において最低限必要な制作の基礎知識を学ぶ。コース選択後は、イベントの企画を中心に宣伝、運営、本部など各セクションの仕事を理解しより実践的な実習を行う。学内イベント、片柳記念ホールでのイベント、外部会場での修了イベント等のイベント実習を通じてイベント企画に関連する基本的な業務内容を理解しイベント企画スタッフとしての能力を身につける。					
到達目標					
実習を通してイベント企画スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める事を目標とする。学内イベント、片柳記念ホールでのホールイベントや外部会場を使った修了イベントを通じてイベントの企画やブックイング、宣伝プランの作り方や、運営の方法、マーケティングを実践する事でイベント企画スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション力を身につけイベント企画スタッフとして自ら考え行動出来る能力を身につけることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	イベント企画スタッフとしての基礎的なスキルを身につける為に、イベント企画の役割や仕事を理解する。また、イベントを企画するために必要なアイディアの発想法や企画の立て方、プレゼンテーションなどをイベント実習を通じて学んでいく。また、イベントに関わる関連企業やタレント事務所について理解する。コンサートの実践実習に向けてコンサートの企画やタイムテーブルを理解しチームの編成と企画書を作成する。ライブハウス制作実習や片柳記念ホールでのホール実習や修了公演を通じて実践的な実習授業を行う。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	10%	グレードテストを定期的に行う		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	80%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	学内イベント企画	制作準備	校内での企画イベントの準備をし、シュミレーションを行う		
2回	学内イベント企画	本番実施	校内での企画イベントを実施する		
3回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画のプレスト		
4回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画内容の決定、チーム編成		
5回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画イベントの準備		
6回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画運営のシュミレーション		
7回	ホールイベント実習	実施	ホールイベント実習（片柳記念ホール）ロビー企画実施		
8回	ホールイベント実習	実施	ホールイベント実習（片柳記念ホール）ロビー企画実施		
9回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画のプレスト		
10回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画内容の決定、チーム編成		
11回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画イベントの準備		
12回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画イベントの準備		
13回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画運営のシュミレーション		
14回	修了イベント	制作準備	（修了イベント） 校外イベント準備		
15回	修了イベント	実施	（修了イベント） 校外イベント実施		

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサートPAコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	床鍋 隆		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
コンサートやイベント現場におけるPAスタッフを目指す実習。基礎実習ローテーション期間ではすべてのコース(制作・企画・舞台・照明・PA)において最低限必要なPAの基礎知識を学ぶ。コース選択後はより実践的にPA機材のしくみ・使い方を習得し簡単なPAシステムのプランニングから設置・オペレートまでができることを目的とする。PAコースに限らず、ホール・ステージでの安全管理も身につけるようにする。					
到達目標					
基礎実習ローテーション期間中は、ケーブル・コネクタの種類や名称などを知り、PAの基本的な配線ができるようになる。基本的にはフェーダー操作を覚え、簡単な台本に沿ったミキシング操作ができるようになる。コース選択後はアナログコンソールの詳しい仕組みとエフェクターを学び、カラオケミキシングができるようになる。一年次での最終目標は2バンドのステージ転換とスピーカーチューニング・ミキシングができるようになる。					
教育方法等					
授業概要	基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消できるようにする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	10%	グレードテストを定期的に行う		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	80%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	スピーカシステム①		マルチウェイシステム チャンネルディバイダーと帯域ごとのスピーカーが理解できる		
2回	スピーカシステム②		マルチウェイシステム 2wayシステムと配線のチェック方法が理解できる		
3回	スピーカシステム③		マルチウェイシステム 3wayシステムと配線のチェック方法が理解できる		
4回	PA機材の理解		デジタル機器・グラフィックイコライザー・パラメトリックイコライザーが理解できる		
5回	モニターシステム①		モニター用ミキシングコンソールの使用方法とオペレート技術が理解できる		
6回	モニターシステム②		AUX回路からモニタースピーカーへの配線と音だしが理解できる		
7回	イベント②(ホールライブ実習A)		バンドライブにおけるセッティングとミキシング操作ができる		
8回	イベント②(ホールライブ実習B)		バンドライブにおけるセッティングとミキシング操作ができる		
9回	コンサート実習制作準備		プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる		
10回	コンサート実習制作準備		チューニング、ステージ転換、単音チェックができる		
11回	修了ライブ 制作準備		プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる		
12回	修了ライブ 制作準備		プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる		
13回	修了ライブ 制作準備		プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる		
14回	イベント③(修了ライブ実習A)		2バンド転換とスピーカーチューニングライブ本番ができる		
15回	イベント③(修了ライブ実習B)		2バンド転換とスピーカーチューニングライブ本番ができる		

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート照明コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材	舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞(日本照明家協会出版)、現場で役立つ舞台関係用語集 ステージ・PA・照明用語事典(リットーミュージック)				
担当教員情報					
担当教員	田村・坂田・加藤		実務経験の有無・職種	有・舞台照明	
学習目的					
音楽業界だけでなく、エンターテインメントに必要な照明として、最低限必要な舞台照明の技術・知識を身につける。社会人として、必要なコミュニケーションも指導していく。また、照明では高所に機材を設置する為、作業における安全も理解する。1人で出来る仕事ではない為、協力し助け合い切磋琢磨が必要である。より良いコンサートやイベントにする為に、重要性を理解し意思疎通ができる事を目的とする。					
到達目標					
・安全に対する心構えとして、コミュニケーションの必要性を理解する。 ・各種灯体の効果・特徴を理解し、電気回路の基礎を身につける。 ・調光卓の機能、舞台照明の規格の一つであるDMX512規格概要を理解する。 ・舞台照明は一人で出来る作業ではない為、実習を通じて、他人とのコミュニケーションを身につける。					
教育方法等					
授業概要	基礎実習ローテーション期間中は、舞台照明とは何であるか、舞台照明の効果、照明設備の名称と役割、照明スタッフの仕事の内容など舞台照明に関する基本的なことを学ぶ。コース選択後は、コンサート照明スタッフとしてより専門的な知識の理解をはじめ、仕込み図の理解、照明オペレーターの理解とライブ実習を通じて実際に照明オペレーターを行う。				
注意点	失敗する事が問題ではなく、分からない事をそのままにしておく事が問題の為、自ら積極的に授業に参加しコミュニケーションも重視する。厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。(遅刻・欠席の場合、授業開始15分前までに必ず教員室に連絡を入れる事。)ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	10%	宿題や見学のレポートなどを真剣に取り組んでいるか、提出状況によって評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	本番実習における協調性や積極性、理解度を評価する。		
	平常点	70%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	仕込み①		仕込・シュートを理解する。		
2回	仕込み②		仕込・シュートを理解する。		
3回	調光卓使い方		パッチ・プログラムの仕方を理解する。		
4回	LEDスポットについて		LEDスポットの構造と特性を理解する。		
5回	イベント②に向けて①		データーの打込み、曲との表現の仕方を検証する。		
6回	イベント②に向けて②		データーの打込み、曲との表現の仕方を検証する。		
7回	イベント②(ホールライブ実習本番①)		各コースの連携の必要性と仕込み・シュートを理解する。		
8回	イベント②(ホールライブ実習本番②)		各コースの連携の必要性と本番の照明オペレーターと撤収を理解する。		
9回	イベント②反省会		イベント②(ホールライブ実習本番②)での改善点等を検証する。		
10回	ケーブル等の構造・容量について		ケーブルの構造と容量、トラブルに対してのリペアを理解する。		
11回	イベント③に向けて①		データーの打込み、曲との表現の仕方を検証する。		
12回	プロダクションミーティングに向けて		アーティストとの打合せにおいて、どのような情報や資料が必要か理解する。		
13回	イベント③に向けて②		データーの打込み、曲との表現の仕方を検証する。		
14回	イベント③(修了ライブ本番①)		各コースの連携の必要性と仕込み・シュートを理解する。		
15回	イベント③(修了ライブ本番②)		各コースの連携の必要性と本番の照明オペレーターと撤収を理解する。		

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート舞台コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	田城 佳子		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
コンサートやイベントにおける舞台スタッフを目指す実習。基礎ローテーション期間ではすべてのコース（制作・企画・舞台・照明・PA）において最低限必要な基礎知識を学ぶ。コース選択後はより実践的に舞台スタッフの仕事の理解や知識を深め、実習ライブでは舞台進行やローディーを実践し舞台スタッフとしてのスタッフワークができることを目的とする。また、ホール・ステージでの安全管理も身につけるようにする。					
到達目標					
●舞台の名称、用語を理解できる。●各セクションの流れを理解し、タイムテーブルの作成、図面作成、進行表の作成ができる。 ●舞台を安全に進行する。●ドラムセットのセティングができる。●楽器の基礎知識を習得し、各種アンプの種類、名称が理解できる。 ●イントレの名称、組み方を理解し安全に組める様になる。●箱馬、平台を使って山台の作製ができる。					
教育方法等					
授業概要	基礎実習ローテーション期間中は基本的な舞台の役割を理解し舞台機構や作業ロープの結び方、幕の吊り方、ドラムのセティング、トラスの組み立て、吊り込み、山台の作製など)を学ぶ。コース選択後はコンサート舞台スタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しく役割や仕事の内容を理解し、実習ライブを通じて舞台進行やローディなどを実践してゆく。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	10%	課題や、イベント後のレポートを評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	本番実習での協調性、積極性、理解度にて評価する。		
平常点	70%	積極的な授業参加、協調性、授業態度によって評価する。			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	イントレ組み方②（5連2段）		イントレ組 安全に5連2段組み立てることが出来るようにする。		
2回	道具プラン思案・作製・仕込み練習・検証		イベント②に向けて：道具プランを考え、図面（手書きにて）起こすことが出来る。		
3回	立ち位置図面・楽器プロット図の作成（CADソフトにて作成）		CADソフトを使って、立ち位置図面の作成が出来る。		
4回	タイムテーブル・進行表 作成		タイムテーブル、進行表の作成が出来る。		
5回	プロダクションミーティングに向けて		資料を作成し、その資料の説明が出来るようにする。		
6回	ホール仕込みに向けて		各コースと打合せをし、タイムテーブルの作成が出来るようにする。		
7回	イベント②（ホールライブ実習 本番A）		各コースとコミュニケーションを取りながら、舞台仕込を出来るようにする。		
8回	イベント②（ホールライブ実習 本番B）		タイムテーブル、進行表に沿って、スムーズに進行が出来るようにする。		
9回	道具プラン思案・作製・建て込み練習		イベント③に向けて、道具プランを考え、部材リスト、道具帳作成、図面作成が出来るようにする。		
10回	立ち位置図面・楽器プロット図・転換図の作成		アーティスト資料をもとに、転換の流れを理解し、スムーズに転換出来るようにする。		
11回	タイムテーブル・進行表 作成		アーティスト資料をもとにタイムテーブル、進行表の作成ができる。		
12回	プロダクションミーティングに向けて		質問事項を考え、作成資料の説明、プロダクションサイドに確認することができる。		
13回	楽器 転換練習（思案・検証）		各バンドのセティング図をもとに、スムーズに転換ができるよう、流れを理解することができる。		
14回	イベント③（修了ライブ本番A）		各コースとコミュニケーションを取りながら、安全に舞台の仕込み終わることができる。		
15回	イベント③（修了ライブ本番B）		タイムテーブルに沿って、リハーサル・本番・撤収まで、安全に終わることができる。		

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	コンサートプロダクト 2	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	コンサート企画コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	村上 勝志		実務経験の有無・職種	有：プロデューサー、A&R、マネージャー	
学習目的					
イベント現場における企画スタッフとしてのスキルを身につける実習。基礎実習ローテーション期間ではすべてのコース(制作・企画・舞台・照明・PA)において最低限必要な制作の基礎知識を学ぶ。コース選択後は、イベントの企画を中心に宣伝、運営、本部など各セクションの仕事を理解しより実践的な実習を行う。学内イベント、片柳記念ホールでのイベント、外部会場での修了イベント等のイベント実習を通じてイベント企画に関連する基本的な業務内容を理解しイベント企画スタッフとしての能力を身につける。					
到達目標					
実習を通してイベント企画スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める事を目標とする。学内イベント、片柳記念ホールでのホールイベントや外部会場を使った修了イベントを通じてイベントの企画やブッキング、宣伝プランの作り方や、運営の方法、マーケティングを実践する事でイベント企画スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション力を身につけイベント企画スタッフとして自ら考え行動出来る能力を身につけることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	イベント企画スタッフとしての基礎的なスキルを身につける為に、イベント企画の役割や仕事を理解する。また、イベントを企画するために必要なアイデアの発想法や企画の立て方、プレゼンテーションなどをイベント実習を通じて学んでいく。また、イベントに関わる関連企業やタレント事務所について理解する。コンサートの実践実習に向けてコンサートの企画やタイムテーブルを理解しチームの編成と企画書を作成する。ライブハウス制作実習や片柳記念ホールでのホール実習や修了公演を通じて実践的な実習授業を行う。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	10%	グレードテストを定期的に行う		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	80%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	学内イベント企画	制作準備	校内での企画イベントの準備をし、シュミレーションを行う		
2回	学内イベント企画	本番実施	校内での企画イベントを実施する		
3回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画のプレスト		
4回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画内容の決定、チーム編成		
5回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画イベントの準備		
6回	ホールイベント実習	制作準備	ホールイベント実習の企画運営のシュミレーション		
7回	ホールイベント実習	実施	ホールイベント実習（片柳記念ホール）ロビー企画実施		
8回	ホールイベント実習	実施	ホールイベント実習（片柳記念ホール）ロビー企画実施		
9回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画のプレスト		
10回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画内容の決定、チーム編成		
11回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画イベントの準備		
12回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画イベントの準備		
13回	修了イベント	制作準備	修了イベント実習の企画運営のシュミレーション		
14回	修了イベント	制作準備	（修了イベント） 校外イベント準備		
15回	修了イベント	実施	（修了イベント） 校外イベント実施		